

緑風

帯広市立緑園中学校 学校だより No.15

令和2年 12月24日発行 発行者 校長 海鋒 達也
今年度重点 『Build Confidence!』

《学校教育目標》

- 学ぶ人
- 思いやる人
- 鍛える人

季節は過ぎて……

コロナ対策に奔走した2020年の1年が終わろうとしています。体育祭・文化祭という2大行事の中止をはじめ、さまざまな制約がある中でしたが、緑園中生272名は季節の流れと共に着実に、身体だけでなく心も成長してきたのだと信じています。コロナ禍だからこそ、得たものがきっとあったのではないのでしょうか。



明後日から迎える冬季休業は、2学期の反省を活かし、マイペースで学習や読書、ウインタースポーツに取り組む良い機会です。3年生には、入試へ向け試練の3週間（実質は11日間）でもあります。緑園中生のみなさん、ぜひ「克己心に勝つ心を磨く」機会としましょう。自分の課題を踏まえた家庭学習の習慣をはじめ、早寝・早起き・朝ご飯や適度な運動など、正しい行動や生活習慣をセルフコントロールし時間を上手に使うことが大切です。自己管理する力が将来の自分をつくっていくのです。

☆感謝の気持ちを忘れずに

またこの年末年始、家事の分担を増やすなど、親や家族への日頃の世話や苦勞に感謝し気持ちを言葉と行動で表すようにしましょう。



なお、12月29日（火）～1月3日（日）は市内全学校は閉庁日（学校閉鎖）となり学校は無人になります。校舎内にも入れませんのでご了承ください。



8組の授業参観で行われたクリスマス会。合奏・歌にダンスに、校外学習の発表と少ない人数の中で一生懸命な取組でした。また、コロナ禍を受けて展示即売会が中止となり、その代替わりとして、クラスで製作した物品を、校内で教職員を対象に販売会「クリスマスセール」が行われました。



3年おびひろ市民学「避難所運営ゲームHUG」を実施。3年間の防災学習のしめくりでした。



3年生の校内推薦者へ、学校長より激励と心構えの講話がありました。いよいよ受験シーズン目前です。



民間の方を外部講師に1年おびひろ市民学「未来創造授業」がキャリア教育の一貫として行われました。将来設計を考える貴重な機会でした。



校務員の方により、校内すべての水飲み場の蛇口が、新しいものに付け替えられました。1年生の女子生徒から早速「使いやすくなりました！」と好評です。



2年生、学年レク「ドッチボール」のようすです。

猛暑の8月から、長かった2学期も94日の授業日を無事終えようとしています。この間、コロナ対応を受けて、スクールサポートスタッフの方の毎日の消毒作業など、感染対策に万全を期してきました。まだまだ、憂慮すべき時期が続くと思いますが、今後も子供達の「確かな学び」の保証を最優先に教育活動を進めて参ります。どうぞ皆さま、よいお年をお迎えください。

令和4年度全国中学校体育大会 大会スローガン募集の15,425点の中から、本校1年1組の 岩崎未祐さんの作品が、優秀賞を受賞しました。

「情熱が 北の大地を 熱くする」

岩崎さん、おめでとうございます。再来年の夏、コロナが完全に終息し、このスローガンの通り熱い暑い全国中体連が、この十勝帯広で開かれることを願ってやみません。

